



2026年3月13日

4大学5学部が連携し、1年生向け科目「九州沖縄農林水産学」を開講 ～九州・沖縄地域の農林水産業を横断的に学ぶ新たな教育連携～

宮崎大学農学部、佐賀大学農学部、鹿児島大学農学部・水産学部、琉球大学農学部の4大学5学部は、教育連携の取組として、1年生を対象とする「九州沖縄農林水産学」を2026年4月から開講します。九州の農学・畜産学・林学・水産学が一体となる初の試みであり、九州の農学系の複数大学が連携する類を見ない取組です。

2026年2月13日、4大学5学部は教育分野で相互協力を深め、教育の充実と資源活用を図ることを目的とする覚書を締結しました。調印式は鹿児島大学で行われ、國武久登教授（宮崎大学農学部長）、鈴木章弘教授（佐賀大学農学部長）、山本雅史教授（鹿児島大学農学部長）、西隆一郎教授（鹿児島大学水産学部長）、内藤重之教授（琉球大学農学部長）が署名しました。



調印式の様子（左から 内藤教授、國武教授（モニター）、鈴木教授、西教授）

本覚書に基づき、各大学が連携して教育プログラムを構築し、地域特性を活かした農林水産業の学びを展開します。

【本取組のポイント】

- ・ 4大学5学部が連携し、初年次教育として共通科目を新設
- ・ 各大学の教員が専門性と地域特性を生かした講義を分担提供
- ・ 九州・沖縄地域の農林水産業を横断的に学ぶカリキュラムを構築
- ・ オンデマンド形式で開講し、教育資源を大学間で共有
- ・ 東アジア・東南アジア地域を見据えた広域的な視野を育成

【本取組の意義】

本取組は、大学の枠を越えた教育資源の共有によって、初年次教育の質向上と九州地域の連携強化を図るものです。今後も4大学5学部は、九州・沖縄地域の持続可能な農林水産業の発展に資する人材育成を推進してまいります。

【本取組の概要】

本科目はオンデマンド形式とし、各大学の教員がそれぞれの専門分野や地域特性を踏まえた講義コンテンツを分担して提供します。

本科目では、九州沖縄地域の農林水産業及び関連産業について、地域特性や先進的な研究開発、地域資源の活用事例などを横断的に概説します。これにより、学生が類似の気象地理条件を有する東アジアから東南アジアにかけての農林水産業への理解と洞察力を深めることを目指します。

【取材について】

本取組の背景や狙い、今後の展開について、宮崎大学農学部長が取材に応じます。

また、本件に限らず、農学分野の教育・研究の動向、地域農林水産業の課題や可能性等に関する取材も歓迎いたします。

取材をご希望の報道機関の皆さまは、以下担当までお問合せください。

<p>お問合せ先 農学部総務係 e-mail : noujimu@of.miyazaki-u.ac.jp TEL:0985-58-2875</p>	<p>発信元 企画総務部総務広報課 e-mail : kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp TEL:0985-58-7114</p>
---	--